

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 保 健

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等〕	東書（東京書籍）	<新しい保健> 301、501
内容の構成・排列・分量等	<p>○第3, 4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活」では、健康に過ごすためには、運動、食事、休養及び睡眠に気を付けて、規則正しい生活リズムを作ることの必要性や、体を清潔にすることや身の回りの環境を整えることの必要性について理解する内容になっている。 ・「体の成長とわたし」では、体は年齢と共に発育することや思春期には男女の体つきに変化が現れることについて身長伸び方を比較することなどを通して理解する内容になっている。 <p>○第5, 6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康」では、これまでの生活経験を振り返ったり、資料などをもとに話し合ったり調べたりする活動を通して、心の発達の仕方や不安や悩みに対する有効な対処の方法について理解する内容になっている。 ・「けがの防止」では、事故や怪我の原因を考え、どのようにしたら事故やけがを防止し、安全な生活を送れるのか、また、怪我の適切な手当の方法について理解する内容になっている。 ・「病気の予防」では、病気の原因を考え、その予防法を学ぶことや、感染症や生活習慣病の予防、歯の健康、喫煙・飲酒・薬物乱用の害について理解する内容になっている。また、地域の人々の健康を守るためにどのような保健活動が行われているのかを理解する内容になっている。 	
使用上の配慮等	<p>○1項目を1単位時間4～6ページ取り扱うようにしており、主体的・対話的で深い学びとなるよう各項を「ステップ1」～「ステップ4」で構成している。例外的に2単位時間扱いとなる項については、項タイトルの近くに「(全2時間)」と明示し、1単位時間の区切りとなる箇所を明示している。</p> <p>○「ステップ1」では、児童の生活場面を想起させる写真やイラストをダイナミックに配置し、児童自らが健康課題を見つけられるようにしている点に特徴がある。</p> <p>○各項の「ステップ4」で、学習した内容をまとめる活動を取り入れている。写真などの資料が充実しており、学習効果を高めるための配慮が見られる。</p> <p>○章末の「学習をふり返ろう」で、その章の学習を終えて、もっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄を設け、さらなる学びへの意欲を喚起するようにしている。</p> <p>○章ごとに「つなげよう」を設け、保健の他学年での学習内容や、他教科などとの関連を示してある。また、インターネットの活用がしやすくなっている。</p>	
その他	<p>○A4サイズの教科書となっている。</p> <p>○学年別配当漢字に配慮しながら、熟語では、できるだけ交ぜ書きをなくす配慮から、学習当該学年の1学年上の漢字にふりがなを付けている。</p>	

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 保 健

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	大日本（大日本図書）	<たのしい保健> 302、502
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	○第3,4学年 ・「毎日の生活とけんこう」では、自分の1日の生活を振り返り、どうすれば改善できるかを話し合ったり、どのような時に手洗いをするのかを考えたりすることを通して、規則正しい生活をして生活リズムを整えることの大切さや生活環境を整えることの大切さについて理解する内容になっている。 「育ちゆく体とわたし」では、4人の身長伸び方の違いについて考えたり、体の内外に表れる男女の変化について話し合ったり、考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する内容になっている。 ○第5,6学年 ・「心の健康」では、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったりする活動を通して、心の発達や不安、悩みへの対処について理解する内容になっている。 ・「けがの防止」では、事故や怪我の原因について考えたり、犯罪被害に遭わない行動の仕方を考えたりする活動を通して、けがの防止について理解する内容になっている。 ・「病気の予防」では、病気の原因や予防法、生活習慣病の予防に関する事項に対し、自分の経験を振り返るとともに喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に及ぼす影響について考える学習を通して、病気の予防に関して理解する内容となっている。また、人々の健康を支えるためにどのような活動が行われているのか理解する内容になっている。	
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	○第3,4学年 ・1日の生活の仕方や健康によい生活環境について学習した後、自分の生活を振り返る学習を位置付け、課題を発見し生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。 ・「毎日の生活とけんこう」は16ページ、「育ちゆく体とわたし」は17ページ、総ページ数は37ページとなっている。 ○第5,6学年 ・生活の仕方と病気の予防について学習した後、がんと生活習慣のかかわりについて考える活動を位置付け、学習内容を広げて知識を深められるようにするなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。 ・「心の健康」は12ページ、「けがの防止」は16ページ、「病気の予防」は25ページであり、総ページ数は57ページとなっている。	
使 用 上 の 配 慮 等	○1項目を1単位時間2ページ(見開き)を基本構成とし、見通しをもって学習できるようにしている。 ○本編の見開きの多くに、児童の「そうなんだ」を大切にしたり、「ミニちしき」を掲載している。 ○各章のまとめとして、「学習のまとめ」を設定し、学習したことを振り返って自分を評価し、自分の課題を見つけていくことで章全体の深い学びを実現できるように配慮している。 ○学習ゲームを各章で設定している。 ○無料のデジタルコンテンツが用意され、対応するページにマークで示されている。 ○「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、主体的な学習を促すように配慮されている。 ○単元の終わりには学習し理解したことを自らの生活の中で実践できるようにするため、書き込み形式の「活用して深めよう」を設けたりするなど、興味・関心を高めるような配慮がなされている。	
そ の 他	○AB判サイズの教科書となっている。	

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 保 健

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	文教社（文教社）	<わたしたちの保健> 303、503
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等〕	<p>○第3, 4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「毎日の生活とけんこう」では、健康な生活を送るために必要な生活のリズムや体を清潔にする取組について、自分はできているかどうかを振り返ることを通して理解を促し、これからの生活につなげていこうとする内容になっている。 ・「体の発育・発達」では、体は年齢と共に発育することや思春期には男女の体つきに変化が現れることについて身長伸びの様子や体重の増える様子などから理解する内容になっている。 <p>○第5, 6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康」については、自分の経験を振り返ったり、資料をもとに考えたり調べたりする活動を通して、心の発達や心と体の関係、不安や悩みへの対処法について理解する内容になっている。 ・「けがの防止」については、事故やけがの原因を考え、そのことから事故や怪我を防ぐための方法について理解する内容になっている。また、手当の方法について理解する内容になっている。 ・「病気の予防」については、病気の主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙・飲酒・薬物乱用が健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して、病気の予防について理解する内容になっている。また、地域の人々の健康を守るためにどのような保健活動が行われているのかを理解する内容になっている。 	
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<p>○第3, 4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活と健康について学習した後、健康に関する目標や理由を伝え合う活動を位置付け、目標を意識して健康な生活を送ることができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。 ・「毎日の生活とけんこう」は16ページ、「体の発育・発達」は16ページであり、総ページ数は33ページである。 <p>○第5, 6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の害について学習した後、たばこを勧められたときの対処を考える活動を位置付け、飲酒や薬物乱用の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。 ・「心の健康」は12ページ、「けがの防止」は16ページ、「病気の予防」は24ページあり、総ページ数は53ページである。 	
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○1項目を1単位時間1～3ページで構成されている。</p> <p>○自ら設定した課題を解決していくための活動として、「考えてみよう」や「調べてみよう」という発問によって学習を進めていけるように配慮されている。</p> <p>○課題解決への支援として、子供キャラクターが対話形式をとることによって、思考のサポートをするようになっている。</p> <p>○各学年の章末には、「宣言の書き込みコーナー」を設け、学習したこと、理解したことを踏まえ、思考力・判断力・表現力が身につくようにしている。</p> <p>○「もっとくわしく」「もっと知りたい」コーナーを設けて知ってほしい情報を記載し、学習内容の深みや、知的好奇心を高めるよう配慮されている。</p> <p>○学習に関連する資料やQRコードを掲載したり、児童向けの豆知識を脚注に掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める配慮がなされている。</p>	
そ の 他	<p>○A4サイズの教科書となっている。</p> <p>○漢字は、原則として学習者の該当学年までに配当された教育漢字を使用し、新常用漢字についても実態に即して対応されている。また、該当学年教育漢字及び必要に応じて前述以外の漢字を使用した場合は、学習がスムーズに行われるように、その初出時にふりがなが振られている。</p>	

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 保 健

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 ・ 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	光文（光文書院）	<小学保健> 304、504
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	○第3,4学年 ・体の清潔で手の汚れについて学習した後、汚れの洗い残しが多い箇所を考える活動を位置付け、学習したことを広げ、実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ・「けんこうな生活」は16ページ、「体の発育と健康」は19ページ、総ページ数は41ページとなっている。 ○第5,6学年 ・交通事故の防止について学習した後、安全な行動の仕方について考える活動を位置付け、犯罪被害の防止の学習においても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ・「心の健康」は14ページ、「けがの防止」は18ページ、「病気の予防」は27ページ、総ページ数は65ページとなっている。	
使 用 上 の 配 慮 等		○1項目を1単位時間2ページ(見開き)を基本構成とし、見通しをもって学習できるようにしている。 ○学習活動の指示文の前に、「調べよう」「やってみよう」「考えよう」「話し合おう」のマークがついていて、活動の仕方が明確に示されている。 ○コンピューターやインターネットを活用する際の注意事項を記した上で、児童がより学びを深めたい内容を主体的に調べられるように、調べ学習に役立つウェブサイトを数多く紹介している。 ○教科書の紙面にQRコードを配置し、関連した動画コンテンツを手軽にみることができるようにし、学習内容に広がりをもたせたり、より深く理解できたりするように工夫している。 ○各章末に「学習のまとめ」を設け、知識の確実な定着、学びに向かう態度の確認、自己の生活と関連づけて実践する力の育成を図っている。
そ の 他		○A4サイズの教科書となっている。 ○当該学年配当漢字や専門用語、当該学年以降に学習する漢字は、初出だけでなくその都度ふりがなを付け、児童の読みの負担を軽減している。

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 保 健

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 ・ 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	学研（学研教育みらい）	<みんなの保健> 305、505
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	○第3, 4学年 ・「健康な生活」では、自分の心と体の状態や生活リズムについて調べることを通して、規則正しいリズムのある生活を続けていることによって毎日を健康に過ごすことができることを理解する内容になっている。 ・「体の発育・発達」では、体は年齢と共に発育することや思春期には男女の体つきに変化が現れることについて様々な人物の経験談から理解する内容になっている。 ○第5, 6学年 ・「心の健康」については、自分の成長や経験を振り返り、心の発達のしかたや心と体の関係、不安や悩みへの対処について理解する内容になっている。 ・「けがの防止」については、事故やけがが起こりやすい行動について予測したりする活動を通して、けがの防止について理解する内容になっている。 ・「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気や生活習慣病の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する内容になっている。また、地域の人々の健康を守るためにどのような保健活動が行われているのかを理解する内容になっている。	○第3, 4学年 ・1日の生活の仕方について学習した後、数日間の自分の生活を記録し、振り返る活動を位置付け学習したことを実生活で確かめることができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような構成になっているのが特色である。 ・「健康な生活」は14ページ、「体の発育・発達」は18ページであり、総ページ数は37ページである。 ○第5, 6学年 ・不安や悩みへの対処について学習した後、体と心をリラックスさせる体験的な活動を位置付け、実感を伴って理解し、実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような構成になっているのが特色である。 ・「心の健康」は14ページ、「けがの防止」は14ページ、「病気の予防」は25ページあり、総ページ数は57ページである。
使 用 上 の 配 慮 等		○1項目を1単位時間2ページ(見開き)を基本構成とし、見通しをもって学習できるようにしている。 ○学習内容に応じて「比べる」「確かめる」「話し合う」などの活動を適切に設定するなど、主体的・対話的で深い学びによって、思考・判断・表現する能力を養うことができるようにしている点が特色である。 ○身長伸び、体の中で起こる変化など、発育・発達の個人差を肯定的に受け止めることができるように配慮されている。 ○「かがくの目」をはじめとする、見やすくわかりやすい資料、図解、丁寧な解説により、大切なことが一目瞭然となっている。 ○インターネットの安全な利用の仕方を取り上げている。さらにコンピューターの活用事例や調べ学習などに有用なウェブサイトを紹介している。
そ の 他		○A4サイズの教科書となっている。 ○漢字は、交ぜ書きをせず、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなを付けている。